

問題

XY 異縮尺要素に対する計測、寸法作図などの注意点を教えてください。

対象製品

V-nasClair・V-nas シリーズ Ver2013～

V-nas 専用 CAD シリーズ Ver20～

回答

基本的にはアクティブスケールを反映した結果になります。

操作手順

対象コマンド：

[V-nas 標準モード]：[ツール] タブ - [計測] カテゴリ - 『○○』コマンド

[作図] タブ - [文字・寸法・引出] カテゴリ - 『○○』コマンド

[V-nas クラシックモード]：『ツール-計測-○○』コマンド、『作図-寸法-○○』コマンド

上記コマンドを実行し計測を行った場合の結果は以下の表の通りになります。

内容			動作
ツール-	計測-	2点計測	アクティブスケールを反映した計測結果
		要素長	V-nasClair/V-nas Ver2013～ Xスケールで計測 V-nas 専用 CAD シリーズ 実寸で計測
		周長（要素）	アクティブスケールを反映した計測結果
		周長（座標）	アクティブスケールを反映した計測結果
		面積（要素）	アクティブスケールを反映した計測結果
		面積（座標）	アクティブスケールを反映した計測結果
		面積（自動）	アクティブスケールを反映した計測結果
		座標	アクティブスケールを反映した計測結果
		距離	アクティブスケールを反映した計測結果
		角度	アクティブスケールを反映した計測結果
ツール-		要素情報（要素長）	実寸で計測
		要素情報（面積）	要素の XY スケールの比率を保持したまま アクティブスケールで計測 例：要素のスケール X：Y=1/1000：1/100 の場合 アクティブスケール 1/500 の場合 X：Y=1/500：1/50 の要素として計測
		要素情報（角度）	実寸で計測
作図-	寸法-	○○寸法	アクティブスケールを反映した計測結果

以上から、要素長以外はアクティブスケールを反映して計測されます。
そのために異縮尺要素に対しては計測結果が異なります。
長さ、面積は『**ツール－要素情報**』コマンドの幾何情報で確認してください。

ただし、面積に関しては、要素の持っている X スケールをアクティブスケールに設定して、確認してください。

※面積計測のために、ハッチングを作図すると可能になりますが、『**作図－ハッチング－要素**』コマンドでは異縮尺要素を選択することが出来ません。

そのため XY 異縮尺に設定する前に作図を行うか、既存図面などの場合は、いったん XY 同縮尺に設定してからハッチングを作図し、その後 XY 異縮尺に再設定をするなどの操作が必要になります。

※ 『**作図－寸法－標準寸法**』コマンドに関しても X スケールの値で計測されてしまいます。そのため、同縮尺上で旗上げを行う必要があります。